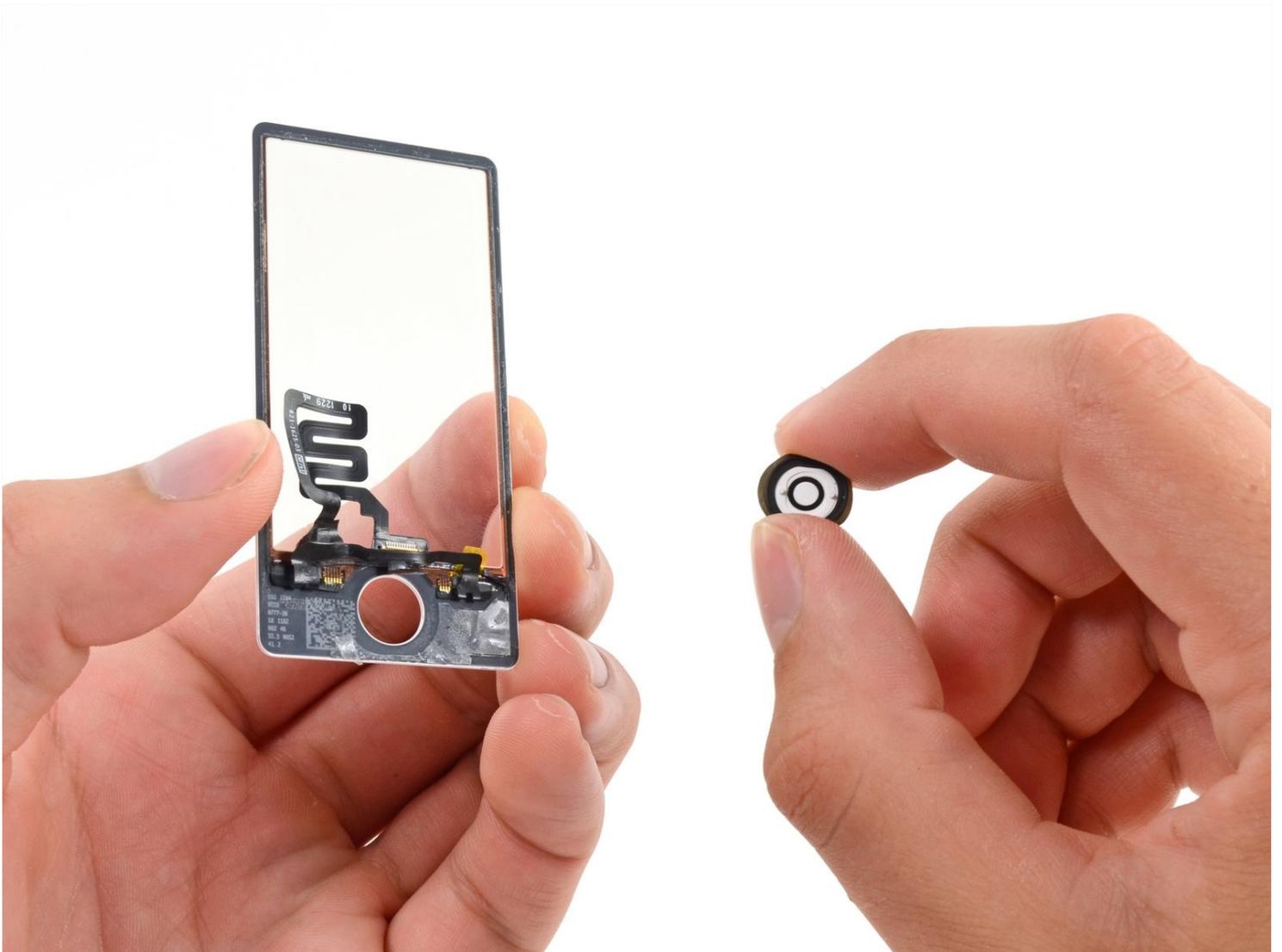




iPod Nano 7th Generation フロントガラス/デジタイザの交換

この修理ガイドを使って、iPod Nano 7th...

作成者: Sam Goldheart



はじめに

この修理ガイドを使って、iPod Nano 7th Generationの壊れたスクリーンの交換もしくはタッチ機能の回復を行います。

🔧 ツール:

iOpener (1)

#000 プラスドライバー (1)

iFixit開口ツール (1)

スパッジャー (1)

メタル製スパッジャー (1)

手順 1 — iOpenerの使用法



① 電子レンジに付着している汚れがiOpenerに付いてしまうことがあるので、使用前に電子レンジの底をきれいに拭き取ってください。

● iOpenerを電子レンジ中央に置きます。

⚠️ 回転型の電子レンジ：iOpenerが電子レンジのターンテーブルで回転しているか確認してください。iOpenerが作動中に留まってしまうと、熱しすぎや焦げてしまいます。

手順 2



- iOpenerを**30秒**温めます。
- 修理作業中はiOpenerが冷めてしまいますので、使用毎に電子レンジに30秒入れて温めてからご利用ください。

⚠ 作業中、iOpenerを温めすぎないようにご注意ください。過熱すると、iOpenerが破裂することがあります。100°Cを超えるまで加熱しないでください。

⚠ 膨らんでいる状態のiOpenerは絶対に触らないでください。

⚠ 適切に温められたiOpenerは約10分間、温かい状態を保ちます。

手順 3



- 電子レンジからiOpenerを取り出します。iOpenerの中央は熱くなっているため、両端の平面になっている部分を持ってください。

⚠ iOpenerは大変熱くなっていることがあります。必要であれば、オープン用のミトンカバーをご利用ください。

手順4 — iOpenerを使った他の温熱方法



① 電子レンジがない場合は、熱湯の中にiOpenerをいれて温める方法もあります。

- 鍋を十分な量のお湯で満たして、iOpenerを完全に沈めます。
 - お湯を沸かして熱になったら火を止めます。
 - iOpenerを熱湯の中に約2-3分間沈めます。iOpener全体が完全に浸かっているか確認してください。
 - トングなどを浸かって、温まったiOpenerをお湯から取り出します。
 - タオルでiOpener全体を拭き取ります。
- ⚠ iOpenerが非常に熱い場合は、先端のタブを持って火傷をしないようご注意ください。**
- iOpenerの準備は整いました。iOpenerを再度温める必要がある場合は、お湯を沸騰させて、火を止めてからiOpenerを2-3分間浸してください。

手順5 — フロントパネルアセンブリ



- iOpenerをプラスチックタブの上に置き、粘着力を緩めます。バッグをデバイスの上に約90秒間置いてから、パネルを開いてください。

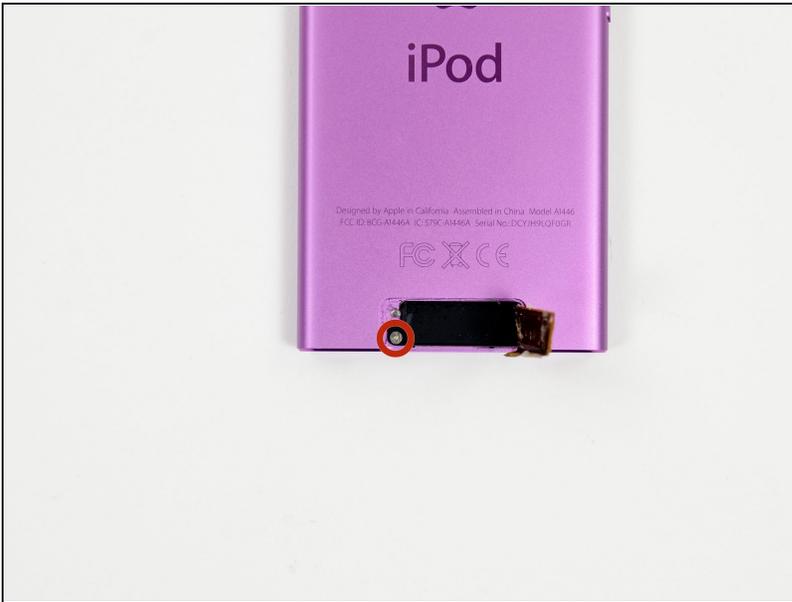
手順6



- プラスチック製開口ツールを使用して、スパッジャーを挿入するだけの十分なスペースができるまで、背面プラスチックカバーをデバイスから引き離します。
- カバーの下にスパッジャーを差し込み、こじ開けるようにして本体から離します。
- iPodから背面のプラスチックカバーを外します。

⚠ Bluetoothアンテナがまだ接着剤でつながっているため、プラスチックのカバーの取り外しの際はご注意ください。

手順 7



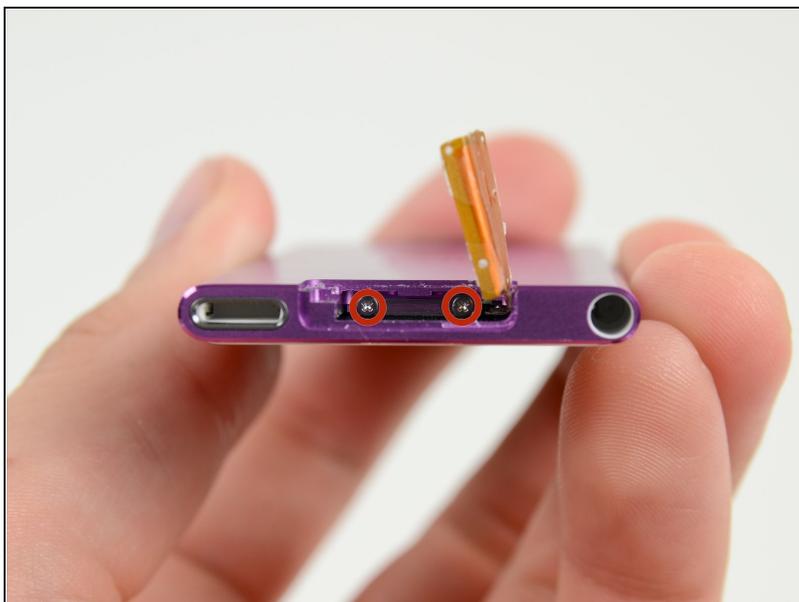
- ① Bluetooth アンテナを慎重に右側に曲げて、デバイスの底面のネジを外します。
- 黒いプラスチックのスペーサーから1.4 mm #000 プラスネジを1本外します。

手順 8



- プラスチック製開口ツールを使って、Nanoから黒のプラスチック製スペーサーを取り外します。

手順 9



- ケースの底部から2mm #000プラスネジを2本外します。

手順 10



- 白いプラスチックのフロントパネルと背面ケースの間の継ぎ目にプラスチックの開口ツールを差し込みます。
- 開口ツールをフロントパネルの端に沿ってスライドさせ、クリップや接着剤から乖離します。

手順 11



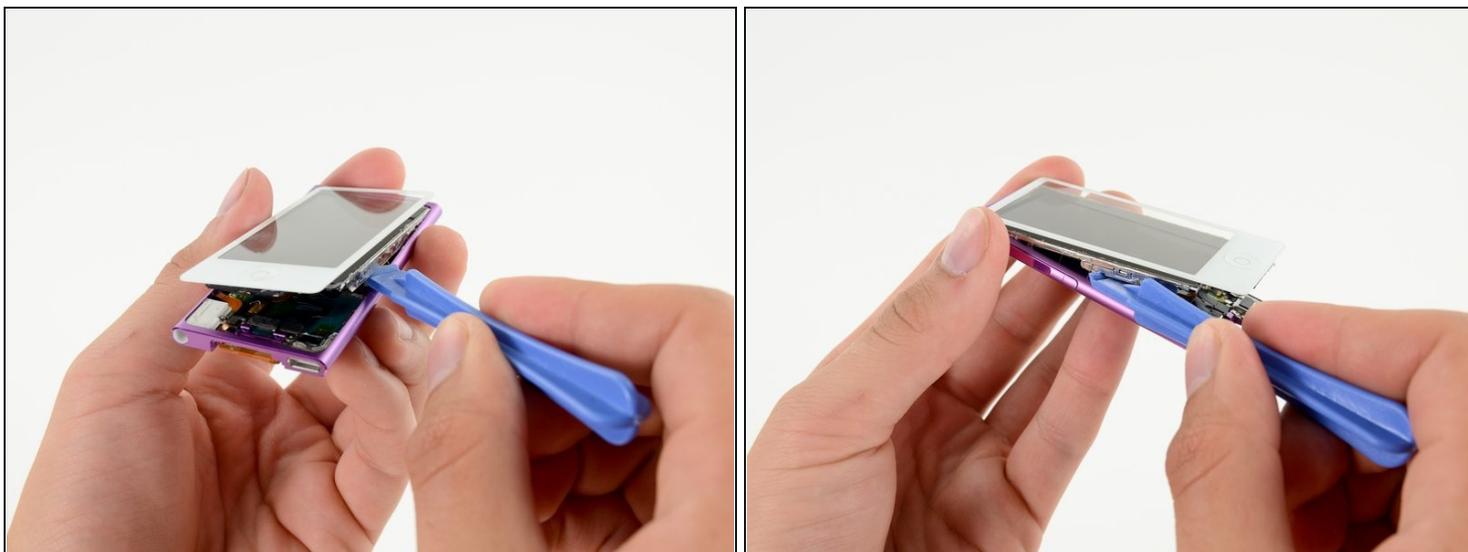
- スパッジャーをミッドフレームのネジタブを押し上げて、背面ケースから外します。

手順 12



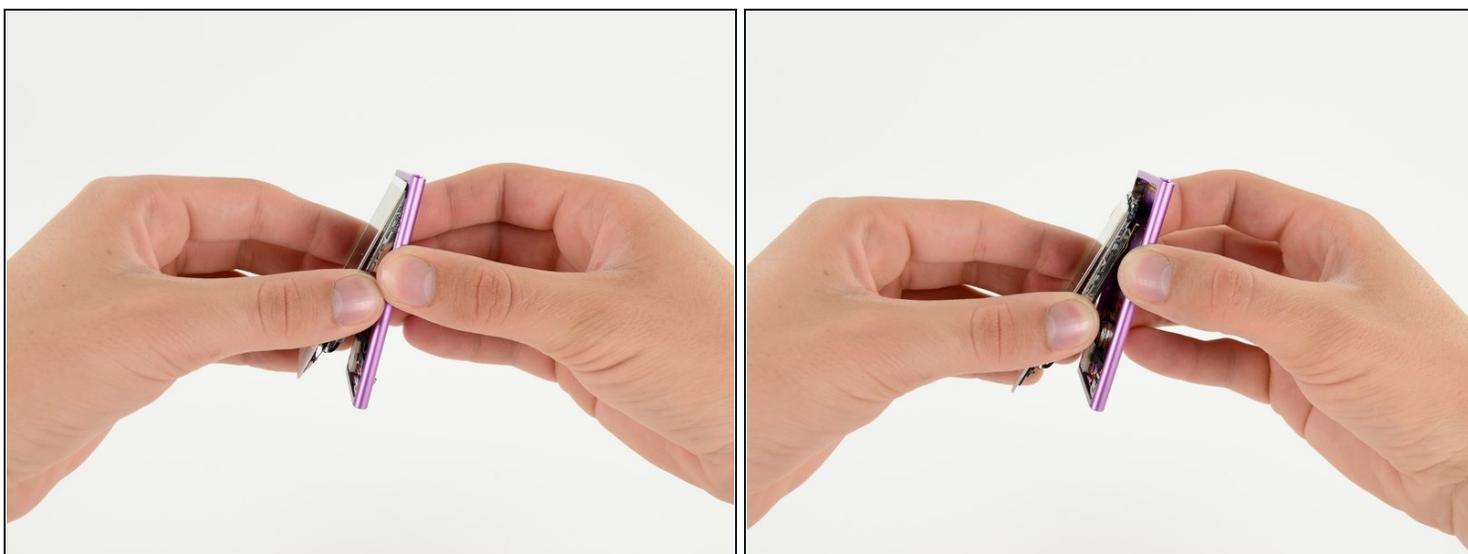
- メタル製スパッジャーを使って、Lightningコネクタ付近とフロントパネルアセンブリのすべての部分（フロントガラス/デジタイザ、LCDディスプレイ、メタル製ミッドフレーム）を慎重にこじ開けます。
- ① メタル製のミッドフレーム/ディスプレイアセンブリの下の接着剤はかなり強力で、部品は壊れやすいので、ゆっくりと丁寧に行ってください。液晶画面を曲げないように注意してください。

手順 13



- フロントパネルアセンブリ下の端に沿ってこじ開け、デバイスの側面に沿ってクリップと接着剤を乖離します。

手順 14



- フロントパネルアセンブリを少し下に引き、部分的にデバイスの外に出してください。
- ① スリープ/電源ボタン付近のディスプレイケーブルコネクタにアクセスできる程度に本体を開ければ十分です。

⚠ 両側半分はまだいくつかのケーブルで接続されているので、完全に分離しないでください。

手順 15



- スパッジャーを使って、デジタイザーケーブルとディスプレイデータケーブルコネクタを解放します。

手順 16



- デバイスの2つの部分をゆっくりと広げ、内部の部品にアクセスします。

⚠ まだ2つの部分はハンダ付けされているため、完全に分離することはできません。

手順 17



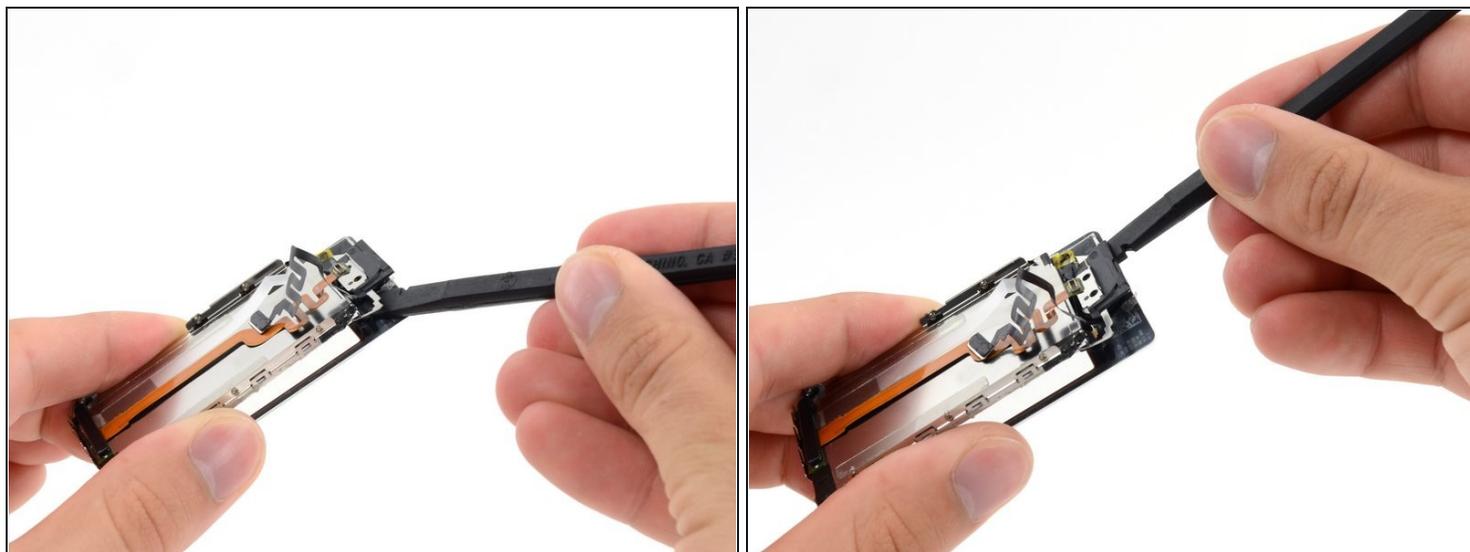
- バッテリーのプルタブを引き抜いて、接着剤からバッテリーを乖離します。
- ① バッテリーを裏返してリアケースに取り付け、保管します。

手順 18



- フロントパネルアセンブリを他のデバイスから完全に分離してください。

手順 19 — ディスプレイアセンブリ



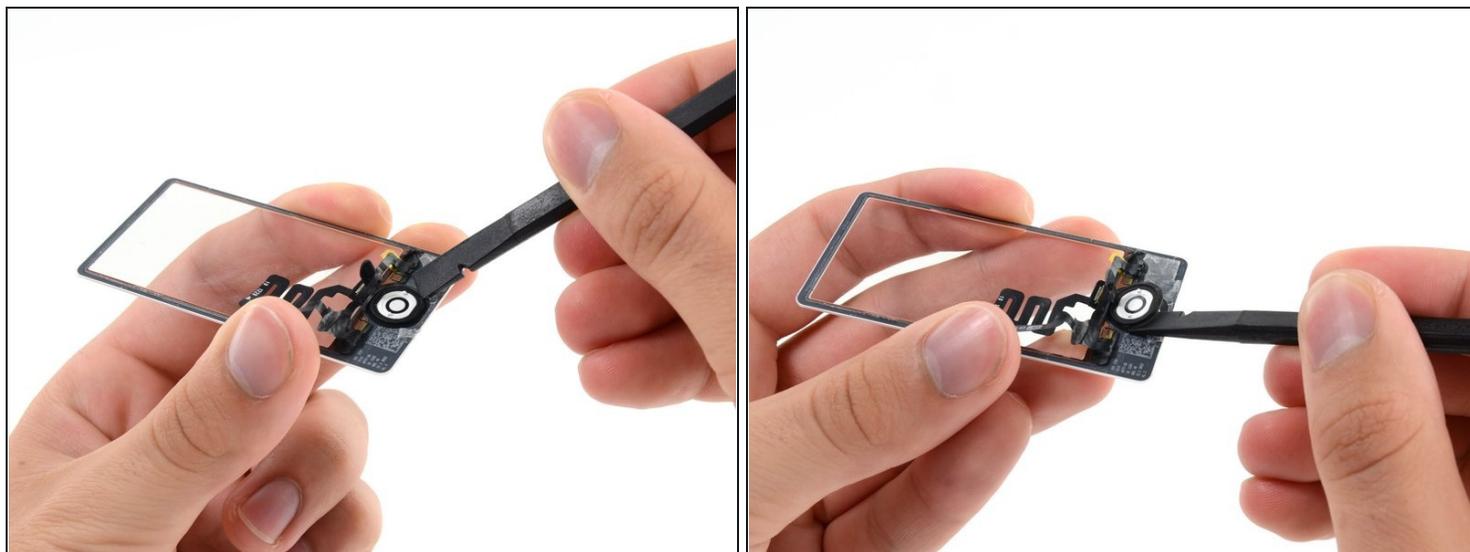
- ホームボタン左側のメタル製ミッドフレームとディスプレイの下に、スパッジャーを差し込みます。
- ① スパッジャーがディスプレイアセンブリ全体の下に差し込まれているか確認してください。メタル製のミッドフレームが湾曲しないよう防ぐことができます。
- ホームボタン周辺からフロントパネルにかけてスパッジャーを回転させ、ディスプレイを固定している接着剤をはがします。

手順 20



- 接着剤がすべて除去できたら、ディスプレイアセンブリをフロントガラス/デジタイザーからゆっくりと外します。

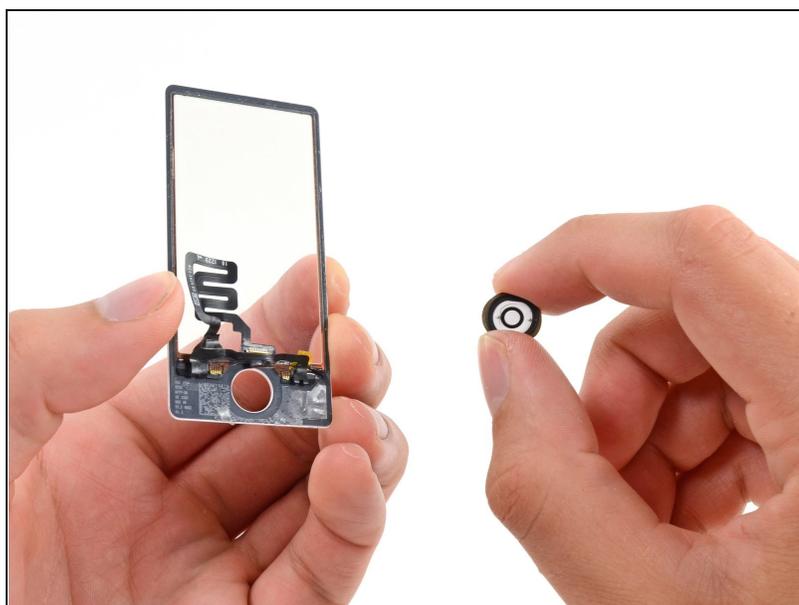
手順 21 — フロントガラス/デジタイザ



- スパッジャーの平面側先端で、ホームボタンのガスケットをボタンの中心に向かって押し、軽く接着剤を乖離してください。
- このようにして、ホームボタンをフロントガラスから簡単に取り外せるようになるまで、ホームボタンの周囲を作業します。

⚠ ホームボタン周辺のパッキンが破れるのを防ぐため、接着剤が十分に緩むまでホームボタンをこじ開けないようにしてください。

手順 22



- フロントガラス/デジタイザーからホームボタンを取り外します。

デバイスを再組み立てする際は、これらの手順を逆の順番に従って作業を進めてください。